

平成30年秋の「関西を歩む会」 灘三郷（西郷、御影郷、魚崎郷）の酒蔵を巡るコース

関西地区電気系同窓会会長 加賀 起寛（電気44年卒）

平成30年10月27日(土)に「関西を歩む会」として灘三郷酒蔵巡りを実施しました。当日は天候に恵まれさわやかな秋晴れの中、日本酒の試飲を楽しみながらの歩む会となりました。灘の酒蔵は灘五郷と称され、西から西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の5つの地域からなる日本を代表する酒どころで、そのうち今回見学した西の三つの郷は神戸市にあります。西郷には金盃、沢の鶴があり、御影郷には白鶴、菊正宗、剣菱、戎面、福寿、仙介・琥泉、大国政宗があり、魚崎郷には千代田盛、松竹梅、浜福鶴、櫻正宗があります。（灘三郷酒蔵巡りのコース

<https://www.feel-kobe.jp/uploads/gm-nada.pdf>

阪神電車大石駅を10時過ぎに出発し、まず「昔の酒蔵 沢の鶴資料館」を訪ねました。酒造りの工程をビデオで学んだ後に、資料館にある酒造りの道具を見て回りました。酒蔵でしか入手できない酒も売っていましたが、最初の蔵なので購入は控えたものの、リュック等を用意しておいて、いい酒を見つけた時にはすぐ買うべきだったと後悔しました。ここで最初の試飲をし、次にこうべ甲南武庫の郷にある「平介茶屋」にて早めの昼食をとりました。灘の名産としても名高い“甲南漬”で有名な漬け物のプロの会社がプロデュースするお店です。人気の平介定食をいただきながら、“これから試飲が色々あるだろうから”と思ってビールを頼まなかったのは大失敗でした。この後の試飲はすべて日本酒で、ビールを飲むチャンスはなかったからです。

その後、「こうべ酒心館」（“福寿純米吟醸”

は日本人がノーベル賞を受賞した際の晩餐会で使われた)、「泉酒造」、「白鶴酒造資料館」、「菊正宗酒造記念館」、「櫻正宗記念館」、「浜福鶴吟醸工房」を回り、阪神電車魚崎にて解散しました（「剣菱酒造」は工場が休みで断念）。各所で試飲ができたので少しほろ酔い気分になりました。私は神戸に住んでいるので何度か酒蔵を訪れたことはあるのですが、今回のように灘の三郷を一気に回ったのは初めてです。秋の一日を歩むのには適したコースだと感じました。その後、どうしてもビールを飲みたかったので、解散地の阪神魚崎駅からJR住吉駅までさらに歩きました。途中で谷崎潤一郎が住み、細雪の舞台となった家、「倚松庵」^{いしやうあん}がありました。もともとは今ある場所より南に建っていたそうですが、六甲ライナーの建設に伴い移築され、その際に行われた耐震工事のおかげで阪神大震災の被害を最小限にとどめているとのこと。土日一般公開されているそうなので酒蔵巡りの帰途に寄り道されるのも面白いかと思いました。

